

平成28年 6月 3日
四国地方整備局**「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会
「受入態勢の整備」部会の開催（6月9日）**

四国遍路の世界遺産登録を推進するために設置された『「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会』の部会の一つである「受入態勢の整備」部会では、遍路道の整備をはじめとした環境整備などの検討及びその推進を行っています。

平成28年度「受入態勢の整備」部会を以下により開催します。

1. 日 時：平成28年6月9日（木） 13：30～16：00
2. 場 所：アイホール「高松サンポート合同庁舎低層棟2階」
(高松市サンポート3-33)
3. 基調講演：「世界から見た四国の魅力ー外国人を受け入れる態勢やインバウンドの課題」 モートン常慈（徳島大学准教授）
4. 議 事：部会運営規程の改正及び副部会長の選任、H27年度活動報告及びH28年度活動計画、みち案内表示シートの設置状況及び方針等についての意見交換



【決定したデザイン】



【県道での設置状況】



【遍路道トイレマップ】

<本件に関する問い合わせ先>

国土交通省 四国地方整備局 建政部

計画・建設産業課 課長 島田 浩和（内線6121）

○課長補佐 大塚 久司（内線6122）

Tel：（087）811-8314（計画・建設産業課 直通）

○：主な問い合わせ先

本施策は四国圏広域地方計画「第4部 広域プロジェクト プロジェクト No.2 お遍路の癒やしや四国の文化を受け継ぐ「史国」伝統継承プロジェクト」に該当します。

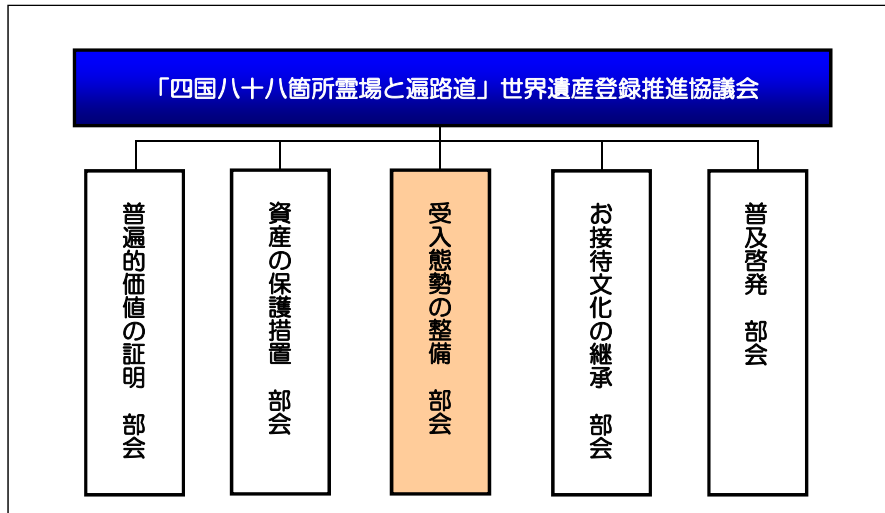
『「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会』について

●「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会……(H22.3.16設立)

- ・目的 : 四国遍路文化を後世へ確実に受け継いでゆくためには、構成する資産を保護するとともに、その文化的価値を国内外に向けて発信し、理解を深めることが必要である。これまで多様な主体が四国遍路文化の保存・継承に向けた活動を行っており、こうした活動を確かなものにするため、四国が一体となり、世界遺産登録に向けた総合的な推進体制である同組織を設立する。

- ・会長 : 千葉会長(四経連会長)
- ・副会長 : 4県知事
- ・構成員 : 経済団体、NPO法人、大学、霊場会、4県、57市町村、国出先機関 等 89団体

※推進体制



■「受入態勢の整備」部会……(H23.7.20 設置)

- ・目的 : 遍路道の整備など環境整備の検討・推進
- ・部会長 : 石橋 良啓 (四国地方整備局長)
- ・副部会長 : 三木 義久 氏 (四国経済連合会 参事)
松田 清弘 氏 (NPO遍路とおもてなしのネットワーク 理事長)
- ・構成員 : 経済団体、NPO法人等、4県、57市町村、国出先機関 (77団体)
- ・事務局 : 四国地方整備局、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- ・活動状況 : 「受入態勢の整備」部会では26年度に決定されたみち案内表示シートを、四国霊場八十八箇所を訪れる歩き遍路や自転車遍路の方々に対する道案内のため、設置を推進しております。
また、お遍路をする方達が安心していただけるよう、トイレマップを随時更新して情報提供を行っています。
平成28年度も引き続き安心してお遍路を巡ってもらえるように環境整備を行っていきます。



<決定したデザイン>



<県道での設置状況>



<遍路道トイレマップ>